

## 仙台別院・あそか幼稚園

# 閉園した園の遊具送る

今年3月に閉園したあそか幼稚園（仙台市青葉区・仙台別院内）

（写真）。

は、被災した子どもたちには笑顔と元気を取り戻してほしいと、被災幼稚園や避難所からの要望に応じて、使わなくなった遊具や教材を贈っている。

4月25日には、石巻港から約2キロの川岸近くにあり、津波の被害を受けた宮城県東松島市の矢本はなぶさ幼稚園（稲富将雄園長）の教諭らが、2トトラックで被災した園児1人が

亡くなり、多くの子どももや教員が家族を失った。同園の丸山史朗教諭(34)は「心に傷を負った子どもたちに恐い経験を思い出させるのはつらいが、震災に負わずに現実を受け止め



てもらえるよう、いのちの尊さを伝えていきたい。この遊具でたっぷり遊ばせてあげたい」と話していた。同園は5月10日に一月遅れの入園式を行い、保育を再開した。

あそか幼稚園の園長だった中西圭子さんは「園児が愛用した遊具が活用してもらえて、ありがたい。親鸞さまの絵本や紙芝居など使えるものは何でも贈らせていただきたい」と話した。